

菊地 時子 (日本共産党)

高校生の主権者意識をどう育てるか

【問】18歳選挙権制度の実施に当たって、学校での主権者教育とともに社会や地域に参画しながら意識を育てることも必要。幅広い世代で意見交換できる場を設けたらどうか。

【答】市選挙管理委員会では、市内各高校へ県選挙管理委員会と一緒に出前講座を実施し、主権者意識の育成に努めることとしている。意見交換できる場を設けることについては、対話の内容や開催方法、参加する方々の公平な選定等、検討する課題が多いことから、今後、全国の事例について調査することとする。

自治会の活性化と自治体の役割

【問】長い伝統を持って地域の自治を担ってきた自治会は、少子高齢化で役員のなり手がいない。子供会を世話する親も減って負担が重いなど、深刻な状態にある。行政の支援対策は。

【答】総合戦略において人口減少に少しでも歯どめをかけるための各種施策に取り組み、活力ある地域コミュニティの形成を図るため、地域集会所整備への支援拡充や地域リーダー等の人材育成等の取り組みを進めていく。今後多くの市民や団体が、地域社会の中で活躍できる環境の整備に努めていきたいと考えている。

その他の質問事項

- 期日前投票所の高等学校への設置
- 孤独死防止の取り組み
- 高齢者福祉サービス

原田 悦子 (イコールの会)

若者・障がい者の就労支援

【問】働く場がないのが本市の問題。若者や障がいのある人の定住環境をつくるのが大事。市職員の新規採用枠をふやして若者・障がい者の就労支援と人材育成してはどうか。

【答】定員適正化計画により新規採用人数を抑制しているが、業務量と職員数のバランスが保てなくなってきたおり、計画を見直し、若い世代の採用人数を一定数確保したい。また、本市の障害者雇用率は法定雇用率を上回っているが、障がい者の活躍の場を更に広げるため、障がい者の採用枠設定について研究していきたい。

道の駅ふたつ

【問】災害時にトイレの機能は貴重だ。停電時でも利用できるよう、雨水貯留槽を設置し活用することを提案する。

【答】整備に当たり道路管理者である国土交通省との連携により、一次避難者や道路利用者の安全を確保する機能や食糧支援できる体制整備、二次物資集積拠点としての機能の整備や緊急用トイレ、非常用発電設備等の設置を検討することとしている。災害時のトイレ機能確保のために必要となる整備内容も含め、引き続き協議を進めていく。

その他の質問事項

- あきた未来づくり交付金
- 子供の貧困の実態把握
- 能代産業廃棄物処理センター

安岡 明雄 (改革のしろ)

「じぶんの創生」重要な視点

【問】厳しい企業誘致の状況にあつて、地元中小企業を元気にするのが重要だ。地域の素材、すぐれた技術を生かし、みずからの強み弱みを認識し、ないものは他と結び付ける人材が必要だ。

【答】総合戦略においては、エネルギーを活用したまちの活性化や誘致企業等の支援強化による安定した雇用の確保及び拡大を主要な戦略としており、今後、取り組みを進めていく上で、高い技術や技能を持つ地元企業等の受注機会や販路の拡大等を図っていくために、どのような支援が効果的なのか、精査していきたいと考えている。

人口減少時代で求められる職員のあり方

【問】国県の権限移譲に対し、何の工夫もなく「職員を減らすと大変だ」で解決になるか。幅広い知識経験を持つ職員、特定の専門分野を持つ職員。おのの適性を生かす人事制度が必要だ。

【答】人事異動における自己申告制度や職員研修により職員のキャリア育成を図るとともに、職員の適性を把握し、より能力を発揮できる人事制度としていきたい。また、専門的な知識や技術を習得する実務研修のほか、任期付職員、再任用職員、臨時職員の配置、業務委託等により、人的資源を有効活用していきたい。

その他の質問事項

- 18歳選挙権と主権者教育
- 総合戦略の重要課題
- 次期総合計画の基本構想